

# 南西諸島防衛の起点 佐世保

## 日本版海兵隊「水陸起動団」の新設

陸上自衛隊相浦駐屯地・・・任務 強襲揚陸

初の水陸起動団が編成される・・・日本版海兵隊 装備は沖縄の海兵隊と同じ 水陸両用戦闘車 AAV 7



水陸両用作戦のイメージ



今年 5 月、九州西方海域、鹿児島県種子島及び同周辺海域において、水陸機動団演習を行う

西日本新聞 3 月 25 日付け 軍事ジャーナリスト前田哲男氏の話

北朝鮮の脅威、中国の海洋進出を念頭に置いた陸上自衛隊の「西方重視」の流れの中で、佐世保に水陸機動団ができる。相浦駐屯地は従来、教育隊を主とする静かな駐屯地だったが、戦闘部隊の駐屯地に変わる。オスプレイ配備が計画される佐賀空港や日出生台演習場（大分県）などとの軍事ネットワークの中心地になる。米海兵隊岩国基地（山口県）の最新鋭ステルス戦闘機 F 3 5 を搭載可能な米海軍の強襲揚陸艦「ワスプ」も佐世保基地に新たに配備された。国防において、佐世保の重要度が増していることは間違いない。

## 米軍佐世保基地

最大の特徴は、強襲揚陸艦部隊を母港化し、沖縄・岩国の海兵隊部隊と一体となった「水陸両用作戦」の出撃拠点。有事の際、海兵隊を揚陸艦で敵地などへ運び、小型の上陸艇や航空機に移乗させて上陸・制圧する軍事作戦を行う。2018 年 1 月に配備された強襲揚陸艦ワスプを含め 4 隻の揚陸艦と、揚陸艦に搭載する LCAC (エアクッション型揚陸艇) 7 隻の唯一の海外基地。ワスプは、オスプレイの運用と海軍仕様の F35B の母艦となる。また、トマホークミサイルなどを備えたイージス駆逐艦と攻撃型原子力潜水艦も配備。

## 海上自衛隊佐世保基地

ヘリ空母「いせ」をはじめ、15 隻の護衛艦が配備。SM-3 弾道弾迎撃ミサイルを搭載するイージス艦 6 隻のうち 3 隻が在籍。朝鮮情勢が緊迫する中、米軍との共同訓練を繰り返す。

## 米空母、海自と共同訓練



米海軍の強襲揚陸艦「ワスプ」艦上で、発進準備をする岩国基地配備の海兵隊の最新鋭ステルス戦闘機 F 3 5 B。